

令和5年3月27日（月） みどり野幼稚園会議室において、関係者評価会議を開催し、その概要は以下のとおりでした。

参加者：学校法人富山国際学園事務局 3名、みどり野幼稚園 3名

幼稚園長の保護者アンケート結果及び園職員の自己評価結果に関する資料説明に続き、以下のような意見交換が行われた。

◎ 保護者との連携について

コロナ禍では、保護者が保育室に入って保育の様子を見たり、担任とゆっくり話合ったりすることが難しいと聞く。その中で、保育参加の機会を工夫して作っていることは、保護者も安心だろう。低年齢児の場合は、連絡帳が園の様子を知る手がかりとなるが、どのような工夫をしているか？

⇒ 毎日の連絡帳交換は行っていないが、バス通園など送迎に来ない保護者とのやり取りで連絡帳を使用している。必要な場合は、電話や手紙でやりとりをすることもある。日常の様子はブログとおたよりを活用している。

◎ 預かり保育の申請受付について

直前の申請でも受けているのか？

⇒ 一応、申請締切日を設けているが、緊急の用件が発生した場合には、当日申請であっても対応している。

◎ アレルギー食への具体的対応状況について

⇒ 給食は、ユニオンランチからの搬入であり、会社では診断書のある卵アレルギーのみ除去食の提供がある。その他は、家庭から弁当を持参している。診断書のないもの（信念等によるもの）は対応していない。ハラル食などを希望する家庭は、給食対応ができる園に希望変更されている。

◎ 園庭緑化と管理について

園庭緑化への保護者の希望が高いが、一方で除草なども苦勞していると聞く。どのように対応しているか？ ⇒ 園庭緑化は教育上の効果も高く必要と考える。除草については、職員や学園の用務員に頼るだけでなく、保護者ボランティア等を活用していきたい。

◎ 現金の取り扱いについて

預り金保育等で、大量の小銭が発生してしまう。作業に伴う園職員及び事務部職員の負担も大きい。短大の券売機（電子決済）などの方法も参考にしながら、改善していきたい

◎ 事務負担について

園の事務を担う職員（事務局も含めて）は、他の業務も多く担当しており、負担が大きい。事務の省力化や人員についての課題を、双方の立場で話合った。

全体を通して、業務に必要な資源や効率化のための工夫、保護者へのサービスやコンプライアンスなど、事務職員ならではの視点で、園運営を考えることができた。